

京都の生協

NO. 1

第33回通常総会特集

●カメラルポ——田辺キャンパスの同志社大学生協

発行/京都府生活協同組合連合会

JUN●1986

〒604 京都市中京区夷川通烏丸東入ル西九軒町291
せいぎょう会館内 ☎211-8519

えらぶ。 人はみな、その人生を選んできた。
「この指とまれ」と、野原で遊びを選んだのは昔日のこと。爾来、学校、仕事、結婚……と、人生をえらび、歩みつづけてきた。省みれば「石ひとつ坂をくだるがことくにも我けふの日に到着きたる」(啄木) ような気もする昨今。ともあれ、「ぼくの前に道はない。僕の後ろに道は出来る」(高村光太郎) のであり、その時々、最良の選択をするしかない。

先日、ある友人の教師がぼやいた。「新聞の調査でも、小学生の大部分が、「努力すれば自分のなりたいものになれる。」と思っているんだ。今度の『臨教審』(臨時教育審議会) のいうとおりに教育が変わったら、そんな選択の余地は、一部のエリートにしか与えられない」。

いま、いろんな指がさし出されている。「この指とまれ」と。さて——。





随想

京都府生活協同組合連合会会長・京都大学名誉教授（公衆衛生）西尾雅七

第2次世界大戦が敗戦で終わったことを知った時は本当にほっとした気持ちを味わい、誰れ彼れとなく平和の訪れを喜び合いました。しかし現実の日常生活は誠に苦しいもので、食糧不足、医療機関の不備不足と伝染病やその他の病気に悩まされながら、日々を送らざるをえませんでした。このような状況は当然、国民の健康を悪化させつづけていたと思われたのですが、日本国憲法が施行された昭和22年の、――戦後の混乱がまだ収まっていない時期ですが――衛生統計によると、抵抗力の一番弱い乳児の死亡率と国民の死亡率が予想に反して戦前よりも格段に改善され、国民の平均寿命も男女ともに初めて50年を越えました。この事実は公衆衛生学上極めて注目すべきことです。

この事実は、占領軍の将兵と家族の健康を守るために、進駐した地域で徹底的な清掃作業とそ族昆虫駆除作業を、地域住民の参加の下に展開したことによってもたらされたと考えられます。その後、憲法第25条の条文に沿って公衆衛生の向上がはかられました。それは決して順調に進んだのではなく、種々の新しい保健問題が相次いで生じてきたのですが、とにかく衛生統計でみる限りは、現在世界の最高の健康水準に達しているのです。

科学・技術の進歩にもとづく相次ぐ技術革新によって、生活水準は高まり、進歩した医学・医療の思恵を受けたことが最大の理由だと考えていますが、もとより公衆衛生の向上も忘れることはできません。

このように観てくると、戦争のない平和の中で営まれる日常生活こそが健康の基盤であり、また主権在民・戦争放棄をうたい掲げた日本国憲法を守り抜くことこそが、先の大戦で命を失った多くの人々の無念に報いる途であると同時に、国民の健康を守り育てる基本だと考えているのです。

CONTENTS

- ① ……府生協連総会ひらく
1986年度の活動の方針
 - ④ ……府生協連総会の発言から
 - ⑥ ……メッセージありがとう
 - ⑧ ……購売生協の概況
 - ⑩ ……地域生協の状況
-
- ⑫ ……京都生協総代会ひらく
 - ⑭ ……カメラルポ・田辺キャンパスの同大生協
 - ⑰ ……気になるこの本／ミニミニ情報①
〈裏表紙〉府生協連主催の集会案内／ミニミニ情報②

府生協連第33回通常総会ひらく

京都府生協連第33回通常総会は、1986年4月28日午後、せいきょう会館で役員・代議員・オブザーバー44人が出席して開かれました。

福田代議員（京大生協）を議長にして始まった総会は、西尾会長の呼びかけで、3月7日に死去した元京都府生協連事務局長・堤英雄氏の生前の活動を偲んで黙禱をささげました。その後、西尾会長は、「普段着の京都府生協連の活動をすすめていく出発点としてこの総会を成功させたい」とあいさつ。京都府消費生活課・

田中権一係長、京都市消費経済課・小室裕之課長、京都労働者福祉協議会・谷内口会長の祝辞のあと、メッセージ・祝電が披露されました。

吉田専務理事の報告、浜川（同大）、鈴木（京都）、藤田（府庁）、谷口（京都）、菅（京都）、三浦（立命大）、山内（京都医療）、田中（京都）の8氏の発言を受け、総会はすべての議案と特別決議を全員一致で採択しました。又、役員改選もおこなわれ、理事17人、監事3人を選出、さっそく開かれた第1回理事会は、西尾雅七会長以下の役員を互選しました（3ページ）。

生協を強め、地域に広く開かれた生協運動をつくっていかうとの意志を確認した総会となりました。

以下で、活動方針、メッセージ、発言を紹介します。



1986年度の活動の方針

1. 86年度の活動の基調

京都府生協連の第4次中期計画（86年度～90年度の4ヵ年）の初年度であり、その実践の第1歩をふみ出す年です。

第4次中期計画は「地域社会の一員としての生協運動」をつくりあげてをテーマに掲げ、京都府生協連の3つの役割（①会員生協・組合員の交流・連帯を促進する役割 ②生協組合員・府民全体

にかかわる諸問題の解決をめざす運動を促進する役割 ③府内の各界各層との提携・連帯をはかり、生協の姿を知らせる活動を推進する役割）を明らかにしています。

86年度は、この3つの役割を6つの課題として具体化し、活動をすすめることとします。

2. 86年度の活動の課題と方針

①“生協規制”（生協法を改悪し、生協の活動を抑える動き）をはねかえし、生協を強める活動をすすめます。

①いま開かれている通常国会への生協法改悪法案の上程を許さないための全国的行動に参加します。

(会場はいずれも せいぎょう会館4階 10:00~12:00、但し第一回のみ13:30~15:30)

回	日 程	テ ー マ
1	6 / 2 (月)	中小企業・伝統産業のまち——京都 ～ 事業体としての生協の役割～
2	7 / 12 (土)	農協・漁協・森林組合・生協の提携 ～ 協同組合の役割を考える～
3	9 / 8 (月)	農漁業・食糧がかかえている問題 ～ 生協の事業活動としてできることは何か～
4	10 / 27 (月)	学術・文化・教育のまち——京都 ～ 生協はどんな役割を果たせるか～
5	12 / 8 (月)	くらしと政治 ～ 生協運動とのかかわりあい考える～
6	1 / 26 (月)	高齢化社会と社会福祉 ～ 生協としてどのようにかかわるか～
7	3 / 9 (月)	地域の諸組織 ～ 生協活動に求められているもの～

②生協法(消費生活協同組合法)そのものの学習をひろげ、生協を知る活動にとりくみます。

③府内の全自治体に対して、「生協規制に反対する政府への意見書」の採択を求めるとりくみをすすめます。また、全国的な動きにもらみつつ、この秋から冬にかけての適当な時期に、「くらしを守る秋(冬)の組合員大集会」を開催します。

④「消費生活協同組合対策資金」の復活・拡充などを京都府に求める活動にとりくみます。

(2)生協の姿や役割を多くの人びとと共に考え、生協の活動を多くの人びとに知らせる活動をすすめます。

①京都の生協運動の地域社会における役割を明らかにするため、各界各層の人びとの意見をお聞きし、理解を深めあうシンポジウムを開きます(上の表)。

②政党、各級議会議員、そして行政との接触をひろげ、懇談の機会を設けます。

③パンフ「京都の生協運動」の86年度版を発行します(9月刊)。

④各種団体の機関紙誌、マスコミ各社との関係強化をはかるよう、とりくみます。

(3)くらしと平和を守り、住みよい社会にしていくため、諸活動にとりくみ、消団連の活動を強化します。

①消団連の事務局団体として、京都の消費者運動の発展のために力をつくします。

②国連・国際平和年にふさわしく、「核兵器と人類は共存できない」の立場から、平和のとりくみをすすめます。

③各種の大型間接税の導入を許さない府民運動に参加し、役割を果たします。

また、老人保健、医療など福祉の分野ですすむ制度改悪に反対する府民運動に参加し、役割を果たします。

④食品添加物の規制緩和と食糧などの無制限な輸入に途をひらき、くらしの安全性をおびやかす市場開放行動計画に対して、必要かつ有効な行動をすすめます。

(4)会員生協の発展・強化をはかり、役職員・組合員の教育・学習活動への援助を強めます。

①田辺校地への移転後の同志社大学生協をはじめ、会員生協がかかえている諸課題解決のため力をつくします。

②府民のくらしや地域の諸問題、住民諸団体の動きを会員生協に伝える資料・情報提供の機能をつよめます。

③京都生協の3つの研究会(生協理論、

地域問題、食糧問題)の研究・調査の成果を京都の生協運動全体の共有財産とするようとりくみます。

④イタリアの協同組合運動の現状と到達点を研究し、学ぶ場を設けます。

(5)会員生協の組合員同士の交流を基礎として、協同組合間の連帯・提携を促す活動にとりくみます。

①京都医療生協と京大生協の業務提携の経験にも学び、府庁生協と京都生協との質の高い連帯をはかるなど、会員生協の連帯を強めます。

そのためのひとつの機会として、会員生協の理事長(組合長)、専務理事交流・懇談会を秋(9月8日)に開きます。

②農協・漁協・森林組合及び中小企業分野の各種事業協同組合との提携・「産直」の輪を広げます。

特に、書籍、家電の組合との懇談の場を早急に設けます。

又、京商連(京都府商工団体連合会)と京都府生協連の協定10周年を記念するとりくみをすすめます。

さらに、KBS京都から呼びかけられている“生産と消費を結ぶ—協同組合フェスティバル(仮)”(11月1日~3日)の実行委員会に加わり、役割を果たします。

③日本生協連(関西地連)、大学生協連(京滋ブロック)の方針のもと、近畿地区の府県連との連帯を強め、共通する課題での共同行動をすすめます。

特に、滋賀県連とは、この夏に交流会を実施します(8月23日)。

④大学生協の学生組合員と地域生協の主婦組合員の食生活をめぐる交流の実施など、生協組合員の交流を促進します。

(6)京都府生協連が求められている役割を果たせるよう、理事会・事務局が一体となって活動にとりくみます。

①府連広報誌「京都の生協」の定期発行(隔月)をはかり、生協の内外の動きが、生協の内外に伝わるようにします。

②各種協同組合連合会役員との研究・懇談の組織の発足をはかり、積極的な役割を果たします。

③理事会のもとに、生協規制対策、平和の活動推進、まちづくり・連帯、融資対策の4委員会を設け、活動をすすめます。

又、牛乳協議会(大山乳業農協、京都生協、大学事業連合、大学生協)の事務局を担当し、京商連との定期協議会も開催します。

④会員生協の協力も得ながら、理事会、事務局が仕事を分担しつつ諸活動をすすめます。

86年度役員

会 長 理 事	西 尾 雅 七	京 都 生 協
副 会 長 理 事	伊 吹 良 太 郎	大 学 生 協 事 業 連 合
"	横 関 武	京 都 生 協
専 務 理 事	井 上 吉 郎	員 外
常 務 理 事	原 強	府 医 大 ・ 府 大 生 協
常 任 理 事	長 義 一	大 学 生 協 事 業 連 合
"	佐 藤 修	府 庁 生 協
"	中 野 信 夫	京 都 医 療 生 協
"	吉 田 智 道	京 都 生 協
理 事	栗 飯 原 利 弘	教 育 大 生 協
"	岡 野 時 夫	あ め の 生 協
"	小 塚 和 行	京 大 生 協
"	平 信 行	工 織 大 生 協
"	南 波 好 孝	府 医 大 ・ 府 大 生 協
"	水 田 健 治	立 命 大 生 協
"	村 井 勇 二	龍 谷 大 生 協
"	横 山 治 生	同 志 社 大 生 協
監 事	内 原 省 二	京 都 生 協
"	谷 本 巖	大 学 生 協 事 業 連 合
"	田 中 福 三	京 都 生 協

総会での主な発言は次のとおりです

府生協連総会では8人の代議員・オブザーバーが発言しました。

浜川和郎氏（同大生協）は、オープンして1ヵ月間の、田辺キャンパスでの活動を報告しました。同一建物で、2つの競合を相手として食堂供給が始まりましたが、ここでは当初目標の2倍近い達成状況となっていることが紹介されました。オープン後1週間は、1階のキャプテンクックから席が埋まり、あふれた人が2階の生協食堂に来るといった状態だったが、2週間目になると生協食堂はどこにあるのかと捜してくれる組合員が出てくるなど逆転現象がおこり、生協食堂から満席になるようになりました。

浜川氏は、こうした成果の原因として2つを挙げました。一つは、生協がキャンパスに学び働く人びとの生活を良く知っており、食材の品質・メニューでも、価格でも、相手を上まわっていることにあります。安心して食べられる低価格メニュー、食品添加物にも目くばりした食材、“コープ牛乳を飲みましょう”“食品添加物に気を付けましょう”と呼びかける卓上講座など、生協ならではのとりくみがあります。

二つは、支援・連帯活動があります。食堂で働くパート職員の6割が京都生協の組合員ですが、採用にあたって、「生協とは何か」「同志社大生協は田辺キャンパスで何をめざすか」「生協と他業者とのちがい」を明らかにし、生協の発展のために力を貸してほしいと訴えました。また、事業連合や大学生協からも人事をふくむ支援がありました。

浜川氏は、組合員一人ひとりを大切にする事業活動、競合がまねのできない心を大切にする生協らしい活動、技術のい

っそうの向上を今後の課題として挙げ、連帯を呼びかけました。

鈴木昌久氏（京都生協）は、府内全域に広がった京都生協に対する消費者の期待の高さを紹介したあと、“生協規制”に対するとりくみを報告しました。京都生協では、昨年春の緊急署名で14万、昨春秋以後の署名で史上最高の28万が集まりましたが、生協とは何かの学習をしたがらとりくんだことが、大きな成果につながりました。しかしながら、「なぜ生協が規制されるのか分からない」との意見も多くあり、これからも学習を重視していきたいと述べました。

また、鈴木氏は、86年度は、班・グループの活動を見直し、強化することを重点とし、商品活動を中心課題にすえ、組合員が自主的・自発的に参加できる活動にとりくむとの方向を紹介しました。

藤田康夫氏（府庁生協）は、15年間の活動をふりかえりながら、この3年間は剰余も生み出すことのできる経営体質になり、府当局と組合員に信頼される生協への本格的な第一歩を踏み出したとの到達点を報告しました。

また、京都生協と府庁生協との質の高い連帯を、あみの生協の事例にも学びながら追求したい、そのための府生協連の指導に期待すると述べました。

谷口勲氏（京都生協）は、地域の商業者、地場産業、商店街、障害者の授産施設との事業提携の経験を報告しました。

地域の人びとに生協を正しく知ってもらうために生協側の活動を強めること、できる事業連帯から出発し、実績を積みあげることの大切さを訴えました。

菅正光氏（京都生協）は、くらしや平和を語る活動について報告しました。

今年で10年をむかえた家計簿活動の中で、税金の伸びとウェイトが家計を圧迫する大きな要因になっていることが明らかになったこと、大型間接税が導入されると収入の低い世帯ほど打撃が大きいこと、実際の生活実感から出発して大型間接税の導入を許さない運動をすすめていくことの大切さを呼びかけました。

また、“母と子の平和行進”が年を追うごとに参加者をふやしていること、府内95業者135スタンドと提携してすすめている灯油運動が、府民全体に大きな利益をもたらしていることなども報告しました。

三浦知宏氏（立命館大生協）は、83年に発生した不祥事件から立命大生協が再

建にむけてとりくんでいる姿を報告しました。再建にあたって立命大生協は、組合員に依拠して、組合員の利用結集を高めるために全力をつくしています。学内のサークル訪問をしてそこでの要求を聞きとる作業、すべての専従職員が1日30分間は職場の外に出て、組合員が何をしているのかを知る活動などにとりくんでいます。あと2年で再建をやりとげるとの決意も被露されました。

山内貞信氏（京都医療生協）は、組合員の健康づくり出し、健康と楽しむための活動をすすめている姿を紹介し、**田中福三氏（京都生協）**は、府生協連の会計について発言しました。

着実な歩み示す —あみの生協総代会ひらく—

あみの生協の第3回総代会が4月29日、網野町内の地場産業振興センターで開かれました。

同生協は、昨春秋、京都生協との業務提携にふみきり、週1回の共同購入(それまでは月1回)を実現しましたが、この総代会は、そのとりくみを総括し、今後1年間の方針を決めました。総代会では、組合員が1,349人(165班)、出資金656万円、供給高1億1,635万円となったことも報告され、着実な歩みを示していることが明らかにされました。

「台所と直結した共同購入を」の目標を掲げ、1,800人の組合員、1億9,500万円供給高をめざして活動を強める方針を決めました。

なお、理事長に岡野時夫氏、専務理事に前川嘉之氏を選任しました。

累積赤字の解消へ —教育大生協の総代会ひらく—

京都教育大生協は、5月24日、86年度定例総代会を学内で開きました。

組合員1,894人、出資金2,058万円、供給高2億4,121万円をむかえたこの総代会では、「組合員の声と参加を強め、生協の事業と運営を改善し、より役立つ生協をつくりましょう」の基本テーマのもと、86年度の活動方針を決めました。

「私もひとこと」運動による組合員の運営参加が広がったこと、共済で多くの組合員を助けることができたこと、“生協規制”に反対するとりくみが前進したこと(署名882、うち教官アピール署名69名〈学内の過半数〉)などが成果として明らかにされました。

今年度の重点課題として、組合員の活動参加を強めること、累積赤字を解消すること、国内旅行業をスタートさせること、施設改善をすすめることなどを確認しました。

待望の診療所がオープン —乙訓医療生協の 総代会ひらく—

乙訓医療生協(蔡東隆理事長)の第2回通常総代会が、5月25日、向日市内の市民会館で開かれました。

昨年12月1日に、待望の診療所がオープンしてからむかえた最初の総代会でした。組合員が1,262人、出資金762万円、医療収入3,451万円に到達したこと、班づくりがすすみだした、ニュースを5号まで発行したことなどの成果が明らかにされました。

今年度は、6月から、週2回午前「二診制」(複数医師が同時に診察をおこなう)が実現すること、タバコの害についてみんなで学び、地域や家庭で子供をタバコの害から守る運動など「健康な生活づくり」にとりくむこと、訪問看護の重視など「地域に親しまれ、頼りにされる診療所づくり」をすすめることなどの方針を確認しました。

●メッセージありがとうございました

第33回通常総会の盛会を祝し、一層のご発展をお祈り申し上げます。(京都府農協中央会会長・中川定雄)

第33回通常総会のご盛会を心からお喜び申し上げます。今後とも、お互いの連帯と信頼による協同組合間協同を一層強化して、生協運動を限りなく発展させますとともに、貴生協連のますますのご活躍を心からお祈りいたします。(京都府漁連会長・倉 武二)

第33回通常総会を祝し、今後のご発展を祈ります。(京都府森林組合連合会会長・堀格太郎)

第33回通常総会のご盛会を祝し、今後のご発展と協同組合間協同の前進をお祈り申し上げます。(京都府食品産業協成会会長・木村栄蔵)

貴連合会の第33回通常総会の開催にあたり、全国の生協を代表し、心から連帯のご挨拶を申し上げます。昨年来の急激な円高は「円高不況」として中小企業の営業や勤労者の生活に大きな不安を与えています。健康保険の改悪にみられるような社会保障の後退、所得税減税の見送りによる実質的な増税等により可処分所得は増えず、消費者のくらしは依然として苦しさを増しています。また、基準認証制度の緩和や食品添加物の拡大がすすめられようとしており消費者の健康と権利をめぐる状況、あるいは平和と民主主義をめぐる内外の情勢も一段ときびしいものがあります。

このようななかで、全国の生協は組合員の暮しと健康、平和を守る諸活動、ユニセフ募金による国際的相互扶助の活動等を大きく前進させ、前年に引き続き、この1年で100万を越える新しい仲間を迎えました。

このような生協運動の前進のなかで一昨年来、生協の諸活動に対する規制や攻撃が激しくなっています。自民党は生協法「改正」案を準備し、厚生省は生協法の全面見直しを含む「生協のあり方懇談会」を設置し、年内には結論を出すべく作業をすすめています。

私たちは、全国1,000万人の組合員の活動を基礎に生協を強め、不当な生協規制を断固としてはねのけねばなりません。

同時に、地域社会のより多くの人々と協同し「平和とよりよい生活」をめざす活動を一層強めることが大切です。

日生協は第3次全国中計の最終年度にあたり、地連運営を軌道にのせ、県内、ブロックでの連帯を強め生協運動のゆるぎない基礎を確立することを訴えています。

貴連合会が本日の総会において、組合員の活動を一層前進させ、生協間連帯の強化のもと運動と事業を発展させ、多くの友誼団体との提携をつよめていく立場から活発な討議を行い、実りある成果をおさめられますよう期待いたします。

本日の総会の成功を心から祈念し、お祝いのことばといたします。(日本生協連会長・高村 勳)

貴総会のご盛会をお祝い申し上げます。今後のご発展をお祈りいたします。(鳥取県生協連会長・大塚直義)

総会のご盛会を心よりお喜び申し上げます。生協規制をはねかえし、平和と暮らしを守る私たちの運動をより発展させるため、ともに頑張りましょう。(広島県生協連)

貴生協連総会の成功をお祝い申し上げます。全員組合一体となり、生協規制をはねかえし、生活と健康、平和を守る生協運動をさらに広め、高めよう。今後のご発展を祈ります。(新潟県生協連)

貴連合会の総会のご盛会をお祝い申し上げます。このところの急速な円高不況、公共料金値上げ、健康保険法の改悪等により、私たちの暮らしをめぐる状況は一層厳しいものになっています。組合員、消費者の知恵と力を集めて、生協への支持と共感を広め、生協規制をはねのけ、暮らしのよりどころの生協をさらに大きく発展させましょう。(香川県生協連会長・藤井 弘)

第33回通常総会のご盛会を心からお喜び申し上げます。生協をとりまく諸情勢が厳しい中で、さらに前進されたことは、貴連合会のご指導によるものと深く敬意を表します。新年度は、さらに会員・組合員とともに、協同と連帯を強め、暮らしと健康、平和を守る運動をともにすすみましょう。今後のますますのご発展をお祈りします。(秋田県生協連)

第33回通常総会のご盛会をお祝い申し上げ、厳しい社会情勢の中での貴会の奮闘に敬意を表します。生協規制など生協運動をとりまく状況に一層の厳しさが加わり、又、円高差益還元、大型間接税導入、食品添加物増大など、国民の暮らしに多大な影響を与える課題が提起されている今日、ますます全国の生協間連帯と協同が重要になっています。真に地域に根ざした生協運動の建設とその連帯と協同の力を発揮できるよう奮闘することを誓い、全道生協74万組合員を代表して連帯のごあいさつを送ります。(北海道生協連)

総会おめでとうございます。平和とよりよい生活をめざす活動を強め、規制をはねかえすため、ともに頑張りましょう。(福島県生協連会長・佐藤幸七)

第33回通常総会のご盛会を祝し、心からお祝い申し上げます。生協規制反対、暮らしと平和を守る運動を

成功させ、連帯を強化しましょう。(山口県生協連)

第33回総会の盛会を祝し、心から連帯のあいさつを送ります。生協をとりまく厳しい情勢を打ち破り、暮らしと健康を守る運動をさらに発展させましょう。(大阪府生協連会長・山上義弘)

貴連合会第33回通常総会のご盛会をお喜び申し上げます。生協規制をはねのけ、貴連合会の発展を祈念いたします。(埼玉県生協連)

第33回通常総会のご盛会をお喜び申し上げます。生協の社会的役割を広く地域社会に訴えていきましょう。(兵庫県生協連会長・高村 勳)

貴生協連の総会にあたり、お祝いと、連帯のごあいさつをおくります。千葉県の生協運動は、85年度1年間で組合員が2万世帯増えて、26万5千の組合員数となりました。供給高は590億円に達することができました。1年間で増えた組合員の数は最高の数とすることができました。わたしたちは、「生協の役割はもう終わった」とか「生協はもはや必要ない」どころか、生協の果たすべき役割が一層大きくなっていることを実感として感じています。そして、このことは、貴生協連をはじめ全国共通の熱い思いになっていると確信しています。わたしたちは、こうした熱い思いを感じている全国の仲間のみなさんとともに86年度の生協運動を力強くすすめていく決意です。貴生協連の運動が、86年度、一層大きく発展されますよう心から期待しています。(千葉県生協連)

貴連合会の第33回通常総会の開催にあたり、心から祝福のあいさつをお送り申し上げます。わたしたちの暮らしと平和を守る活動を抑制しようとする生協規制の動きは、「生協法の全面改定」へとすすみはじめ、重大な段階をむかえています。

また、円高不況、大型間接税の導入、基準認証制度の緩和など、わたしたちをとりまく情勢は、ますます厳しくなっています。このような中で、わたしたちは暮らしと健康、平和と民主主義をまもり、地域経済をいきいきと発展させるための努力が一層、求められます。協同と連帯の輪を大きく広げ、平和で豊かな生活をつくりあげるために、ともに奮闘を致しましょう。貴連合会の一層の発展を祈念してやみません。(神奈川県生協連会長・岩山 信)

貴総会の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。私たち消費者の、暮らしと健康、権利、平和をめぐる状況は依然としてきびしい状況にあります。中でも「生協規制」の攻撃は、単に生協だけでなく、日本の民主主義、平和を押し潰すものとして重大視しなければ

なりません。しかし、全国生協組合員の幅広く、地道でしかも大きな活動の拡がりや発展は、きっと「生協規制」の嵐をふみこえ、さらに生協の陣地を固め、前進させるでしょう。そのためにより一層、全国生協の協同・連帯を強めましょう。貴総会が成功裡に終了されることを期待し、連帯の御挨拶といたします。(鹿児島県生協連会長・井上博之)

貴生協連通常総会のご盛会をお祝い申し上げます。生協法の改悪を含む生協規制が強められようとしている今日、私たちは暮らしと健康、そして平和を守る運動を一層押し広げるとともに、4・8集会に示された全国組合員の団結の力で生協規制をはねかえしましょう。貴生協連のご活躍と一層のご発展を祈念し、連帯のメッセージといたします。(東京都生協連)

貴連合会第33回総会のご盛会を祝し心から連帯のご挨拶を申し上げます。今私たちの生活は、ひきつづく社会保障の後退、税金や各種保険料の負担増で「ゆとりのある暮らし」とはかけ離れた実態となっています。生協の事業と運動を発展させる中で消費拡大・福祉充実を促進し、健康で安全・安心・平和な生活の実現をめざす活動を強めましょう。日々の暮らしを通して知りあい、学びあい、助け合う生協運動は、私たち岡山の地でも多くの人々に支持され、33万人組合員の岡山県生協連へと発展をしています。

不当な生協規制をはねかえし、生協運動の社会的役割を広く内外に伝え、協同と連帯で地域生活文化を創り出す為に共にかんばりましょう。

(岡山県生協連会長・山本 澄)

特別決議

消費者の自発的で自主的な組織である生活協同組合の活動を力で抑えこもうとする動きが強まっています。

又、大型間接税導入の動き、老人保健法再改悪の動きなど、国民の暮らしを脅かす動きも無視できません。

さらには、核戦争の危機も去ってはいません。私たちは、呼びかけます。願いと力を合わせて、暮らしと平和を守る人びとの輪をさらに広げましょう。

- ①生協活動を抑えこもうとする動きをはねかえしましょう。
- ②京都の生協活動を育成・強化するために「消費生活協同組合対策資金」の復活・充実を京都府に求めます。
- ③老人保健法の再改悪に反対し、大型間接税の導入を許さない府民運動を呼びかけ、私たちも参加します。
- ④「核兵器と人類は共存できない」の立場から、平和を求める活動に力をつくしましょう。

1986年4月28日
京都府生活協同組合連合会第33回通常総会

京都の購買生協の経営概況

1986年3月現在

生協名	年度	組合員数	前年比	出資金	前年比
京都生協	84	178,620	116.8	2,153,586	127.5
	85	206,092	115.4	2,668,727	123.9
府庁生協	84	6,827	103.1	19,312	108.8
	85	7,188	105.3	21,415	110.9
京大生協	84	19,651	106.4	172,764	110.3
	85	20,830	106.0	190,138	110.1
立命大生協	84	18,544	96.9	199,159	113.5
	85	18,839	101.6	227,166	114.1
同志社大生協	84	18,841	92.7	163,784	108.7
	85	19,079	101.2	168,211	102.7
竜大生協	84	7,115	90.2	61,188	107.1
	85	7,100	99.8	68,104	111.3
府医大・府大生協	84	5,404	114.9	32,976	115.1
	85	5,679	105.1	36,010	109.2
工織大生協	84	3,293	101.4	26,538	130.0
	85	3,386	102.8	26,562	100.1
教育大生協	84	1,879	99.6	20,801	127.6
	85	1,906	101.4	20,578	98.9
平安女学院生協	84	1,454	91.7	2,959	91.9
	85	1,516	104.3	3,097	104.7
橘女子学園生協	84	1,118	91.5	3,752	114.9
	85	1,214	108.6	3,754	100.1
あみの生協	84	1,284	104.9	6,504	101.5
	85	1,349	105.1	6,656	102.3
総計	84	264,030	109.8	2,863,321	123.7
	85	294,178	111.4	3,440,418	120.6

(金額単位千円)

総資産	前年比	総供給高	前年比	当期剰余
10,677,733	118.0	33,993,187	126.0	605,663
12,733,679	119.3	39,100,465	115.0	398,206
131,198	107.8	1,320,586	139.3	5,290
201,900	153.9	1,470,775	111.3	6,000
975,063	112.7	4,220,563	103.3	6,050
1,030,313	105.7	4,463,622	105.7	7,099
635,396	103.8	2,823,311	104.9	90,519
856,963	134.9	2,955,269	104.7	70,317
500,774	97.8	2,102,798	102.2	34,674
525,577	105.0	2,125,624	101.1	49,000
226,442	101.2	829,252	102.5	4,375
240,499	106.2	814,144	98.2	1,795
160,920	111.4	755,311	104.7	6,183
175,698	109.2	828,551	109.7	6,393
62,509	101.2	353,873	100.6	2,768
75,346	120.5	392,168	110.8	3,939
55,532	97.5	230,364	108.3	3,360
51,412	92.6	241,213	104.7	1,795
16,747	106.0	59,892	101.8	1,198
17,373	103.7	63,150	105.4	1,298
15,905	111.6	38,456	106.6	1,257
16,630	104.6	42,105	109.5	1,010
17,104	119.7	82,886	256.4	468
23,030	134.6	116,347	140.4	1,238
13,475,323	114.4	46,810,479	120.6	500,270
15,948,420	118.4	52,613,433	112.4	386,159

京都の地域生協の 組織状況

1986年3月現在

	世帯数	共同購入	KCグループ	KC個人	その他	合計	組織率
北区	51,126	4,369	1,274	12,283	657	18,583	36.34
上京区	34,785	2,498	23	848	87	3,456	9.93
左京区	76,919	6,230	2,537	16,732	434	25,933	33.71
中京区	36,194	2,657	620	1,925	101	5,303	14.65
東山区	21,897	1,495	10	173	40	1,718	7.84
山科区	46,164	6,290	1,232	1,896	778	10,196	22.08
下京区	28,431	1,771	21	340	15	2,147	7.55
南区	35,259	3,550	91	538	66	4,245	12.03
右京区	69,375	6,422	1,540	6,878	173	15,013	21.64
西京区	41,757	5,745	1,594	11,199	151	18,689	44.75
伏見区	92,414	9,739	2,789	9,594	948	23,070	24.96
(京都市計)	534,321	50,766	11,731	62,406	3,450	128,353	24.02)
福知山市	20,614	2,748	0	4	0	2,752	13.35
舞鶴市	30,799	2,518	0	0	0	2,518	8.17
綾部市	12,919	1,570	0	0	0	1,570	12.15
宇治市	50,140	7,475	1,018	2,818	448	11,759	23.45
宮津市	8,882	714	0	0	0	714	8.03
亀岡市	21,103	3,325	1	276	29	3,631	17.20
城陽市	23,328	2,701	1,891	2,918	327	7,837	33.59
向日市	16,560	2,055	1,175	3,715	115	7,060	42.63
長岡京市	24,295	3,258	1,129	2,651	60	7,098	29.21
八幡市	21,864	2,559	1,868	3,399	57	7,883	36.05
(10市計)	230,504	28,923	7,082	1,577	1,036	52,822	22.91)
大山崎町	5,256	975	84	512	36	1,607	30.57
久御山町	5,839	807	1	67	16	891	15.25
田辺町	11,980	2,199	782	1,386	67	4,434	37.01
井手町	2,772	354	5	18	2	379	13.67
宇治田原町	1,908	358	3	16	0	377	19.75
(綴喜郡計)	16,660	2,652	790	1,420	69	5,090	30.55)

注：KCとは京都生協の組合員センターの略称

	世帯数	共同購入	KCグループ	KC個人	その他	合計	組織率
山城町	2,402	428	2	30	2	462	19.23
木津町	4,415	846	11	34	3	894	20.24
加茂町	3,571	1,127	3	14	0	1,144	32.03
笠置町	692	71	0	0	0	71	10.26
和束町	1,547	173	0	1	0	174	11.24
精華町	4,208	898	495	389	6	1,788	42.49
南山城村	941	196	0	0	0	196	20.82
(相楽郡計)	17,776	3,739	511	468	11	4,729	26.60)
京北町	1,988	330	0	49	0	379	19.06
美山町	1,701	206	0	20	0	226	13.28
(北桑田郡計)	3,689	536	0	59	0	691	18.73)
園部町	3,931	461	0	4	0	465	11.82
八木町	2,727	333	1	12	0	346	12.68
丹波町	2,289	270	0	11	0	281	12.27
日吉町	1,770	194	0	5	0	199	11.24
瑞穂町	1,532	101	0	4	0	105	6.85
和知町	1,422	74	0	2	0	76	5.34
(船井郡計)	13,671	1,433	1	34	0	1,472	10.76)
三和町	1,404	213	0	0	0	213	15.17
夜久野町	1,721	225	0	0	0	225	13.07
(天田郡計)	3,125	438	0	0	0	438	14.01)
大江町	1,881	271	0	1	0	272	14.46
加悦町	2,282	247	0	0	0	247	10.82
岩滝町	1,928	170	0	0	0	170	8.81
伊根町	1,099	4	0	0	0	4	0.36
野田川町	3,072	285	0	0	0	285	9.27
(与謝郡計)	8,381	706	0	0	0	706	8.42)
峰山町	4,299	610	0	0	0	610	14.18
大宮町	2,753	253	0	0	0	253	9.18
(中郡計)	7,052	863	0	0	0	863	12.23)
網野町	4,774	7	0	0	0	1,352	28.32
丹後町	2,378	181	0	0	0	181	7.61
弥栄町	1,658	148	0	0	0	148	8.92
(竹野郡計)	8,810	1,681	0	0	0	1,681	19.08)
久美浜町	3,398	180	0	0	0	180	5.29
不明行政区	0	3,970	156	3,939	451	8,516	0.00
京都府計	860,363	97,940	20,356	84,701	5,069	208,066	24.18

注：網野町の1,352名のうち1,345名はあみの組合員。その他は京都生協の組合員。

「組合員一人ひとりが要求を 班・グループにもちよる」運動を——。

京都生協第22回通常総代会ひらく

京都生協（横関武理事長）の第22回通常総代会が、5月19日、京都市内のシルクホールで開かれました。

府内（網野町をのぞく）全域に活動エリアを広げてからむかえる最初の総代会にふさわしく、府内各地から600名を超える総代が出席しました。総代は府内19会場での地区別総代会議での事前の報告・討論をふまえて参加しました。

日生協・勝部副会長、西新道錦会商店街振興組合・坂田理事長の来賓あいさつ、横関理事長のあいさつ、内原専務の報告をうけて、20人の総代が発言、全議案を圧倒的多数の賛成で承認しました。

☆ ☆

来賓あいさつの中で坂田宣夫理事長は、“西の錦市場”といわれた同商店街の歴史にふれて、ピーク時には（昭和40年）1日の来街者が2万人であったのが、地域経済の中心である京友禅や労働者の仕事・所得の伸びが停滞する中で、昭和55年には1.2万人にまで落ち込んでしまったという変化を紹介しました。そしてその中から、“虫の目から鳥の目”で世の中を見るようにしようと、地域に根ざし、地域になくはない商店街として再生するための模策を始め、地域の労働組合との提携による昼休みの買物デモの組

織などの実践を報告しました。商店街企画のワイワイサンデーへの京都生協の参加や京都生協壬生組合員センターへの地元コーナーなどの設置といったとりくみを通じて、この4月には、新装なった商店街会館に生協の運営委員会の事務所が設置されることになった経過も報告し、消費者の購買力を高めるために力をあわせてすすんでいこうと呼びかけました。

☆ ☆

総代からは、地域の諸問題について、生協としての本格的なとりくみを求める発言が出されました。上京・中京の両区のように、65歳以上の高齢者が住民比で15%にもなった中では、高齢者を対象として商品開発・企画や供給方法・寝たきり老人の介護問題のとりくみが必要になっているとの提案、環境を守る視点からの廃油回収の経験やゴミ問題へのとりくみ、かもめBOXの利用をふやして丹後地域の産業振興に寄与しようと呼びかけがされました。

又、生協の運営や商品についての意見も出されました。子育て真只中の主婦の活動参加を保障するための託児制度の充実、共働きの増加の中で活動参加がむずかしくなっている現状と解決の具体的方針、講演会などを地域単位に実施するこ

第22回 通常総代会



と、組合員センターがない地域での集会所設置、組合員の学習・教育のカリキュラムの策定、商品の低価格での供給を求める発言が続きました。

“生協規則”についての意見も出されました。地域の産業・農業とのいっそう深い結びつきを追求する中で地域に理解

を広げていこうと呼びかけ、生協法の学習を強めて生協とは何かを学習していくとりくみの大切さなどが訴えられました。

さらに、“くらしの助けあい”活動の本格的な展開を前にしての実験的とりくみの報告や専従職員の商品と組合員活動についての力量アップを求める意見も出されました。1%利用高還元金を出資金にふりかえるとの提案については、もっとよく検討してから実施するようにとの意見が相次ぎました。

☆ ☆

総代会は、“組合員一人ひとりが要求を班・グループにもちよる、みんなですめる生協運動”をつくりあげて今年度の活動の基調にすえ、1年間で2万4千人の組合員拡大と446億円の供給計画を決定しました。

なお、役員改選もおこなわれ、横関武理事長、内原省二専務理事以下の理事・監事を選びました。

経営の概況（85年度末）

組合員数	206,092人
班数	20,872班
出資金	2,668,727千円
（1人当り出資金	12,949円）
組合債	4,579,690千円
供給高	39,100,465千円
（1人当り月利用高	15,810円）
職員数（正規）	512人
“（パート）	411.8人

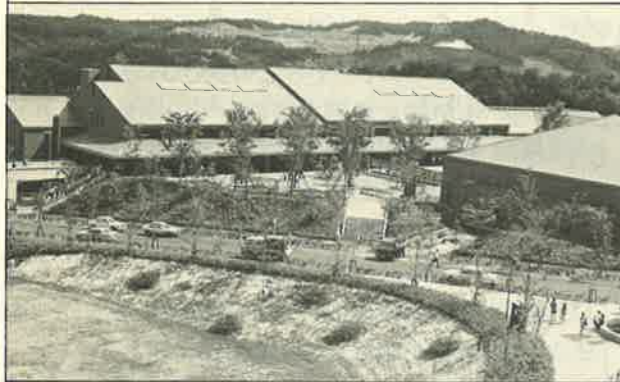
（総代会議案書より）

普段着の コミュニケーションが 始まった。

カメラルポ

大手資本との競合のなかで
供給目標を倍加した
田辺キャンパスの同志社大学生協

〔写真上〕中央の建物がキャンパス中央に位置する食堂・購買棟〔写真下〕いま、食堂、購買棟は2階左側から埋まっています。



「最初は、食堂の売り上げは1日45万円と考えていたんです。最初の1週間はそんなところ。ところが2週目に入って70万から80万円に倍加した。どう判断するか悩んだのですが、いずれ下がるだろうと1週間、様子を見ていたら、ずーとその調子なんです。あわててスタッフを増やしましてね。おかげで、きつう叱られました。“見通しが甘い”って——」

ライトブルーのユニフォームがよく似合う田辺食堂店長の村尾行男さん(37)は、頭をかきながら笑いとぼします。

同じ食堂・購買棟に、ダイエー資本の「キャプテン・クック」と魚国資本の「フォンタナ」が同居し、競合するという、かつてない条件で出発した田辺校地の同志社大学生協。マスコミでもとりあげられ、動向が注目されていましたが、4月から1ヵ月余の第1ラウンドは、生協の供給目標の倍加達成という結果となりました。

競合の巢の中で

今年4月開校したばかりの同志社大学田辺校地。同大1・2回生約8,600人と教職員150人余が、ここで新しいキャンパスライフをくりひろげています。

76万平方メートルという広大な丘陵地をきりひらいたキャンパスに並ぶのは、磁器タイル貼りのしょうやかな建築物。なにやら牧歌的というか、別世界の趣があります。

お目当ての食堂・購買棟は、キャンパスのなかほどに位置した2階建て。1階は、キャプテンクックの食堂と寿司、ラーメン、カレーなどの専門店街、それにキリマンが200円で飲める喫茶「グラナダ」。その奥に、同志社大学生協の購買部と書籍部が並びます。2階に上がると片やファミリーレストラン風の「フォンタナ」、片や「生協食堂」。

自然光をとり入れた高い天井の生協食



「利用するのは生協だけ」——対話が始まった生協食堂

堂。「居心地のよさ、親しみやすさ」を演出するためのスペースデザインは、白と黒を基調にしたシンプルな“ダイアナ”調。テーブルは「高くつきました」(村尾店長)が、肌ざわり抜群の木材。ハイセンスな開放感と親しみやすさが同居しています。

この一面に貼り出された「組合員の声と回答」。こんな一枚が目にとまりました。

声 「みそ汁の中に落ちた50円玉をあらって返してくれたばかりか。新しいみそ汁にかけてくれた従業員たちのやさしさに感謝！」

回答「生協はやさしさ、親切をモットーにしています。これからも甘えて下さい」

普段着のコミュニケーション

「結局、生協というのは、職員が売りつけるものではない。組合員がほしいものを売るんだ、ということですね。日常生活のなかで、普段着のまま、いろんなことを話し合える雰囲気をつくってほしいと思います」を語るのは、この田辺キャンパスでの生協運営の陣頭指揮をとる横山治生専務理事。

「普段着のコミュニケーション」。

口で言うのは簡単。実践の場では、何よりも信頼関係なしにはありえません。だからこそ、この間のスローガンは「言行一致」。

「たとえば“安全”であるということ。もし少しでもあいまいであったら、長い目で見たら、学生に見抜かれてしまう。約束した限りには徹底する。食品添加物を排除すると言ったら、絶対排除する。こういう姿勢が大事だと——」(横山専務)



生協食堂のカウンターにて

生協が学生に信頼されて初めてコミュニケーションがある——このきびしい姿勢をバックボーンに、大手資本との競合という未知の環境に飛びこむにあたって敷いたのは「一歩も後にひけない」背水の陣。

生協の“約束”である、安全で安くおいしいものを早く提供するため、カウンターホットフン(適温を保つ装置)の開発やスクランブルライン(スピードが倍加)など、最新のシステムを導入。1時間で1,500食の供給を可能にしました。

「ていねいで親しみある対応」を全ス

タッフが自然にできるようにするため、研修には1週間以上をついやしました。

「ウルトラCはありえない。30年間積みあげてきた実績をふまえ、力をあわせよう」と、“テーブル掲示”や“組合員の声と回答”の掲示など、こまやかな気づかいを徹底しました。

もっと充実してくれ

こんな生協の奮闘と想いを、学生は敏感に感じとりました。

「いつも生協を利用しています」と声が増えてきたのは、1回生の5人グループ。F君(21)は「下(キャプテン)はまずい。ここ(生協)も“うまい”とは言わんけど、値段のわりに味は落ちてへん」。U君(19)は「応答の態度がいい」。「あの“声と回答”も、なかなかいいんじゃない?」とはI君(19)。

一様に生協への親しみと信頼を寄せる彼ら。注文も卒直です。

「ぼくら5人とも大阪やら兵庫から通っているんです。朝7時に起きて、帰るのは夜7時すぎかな。その間、ずーと生協に世話になるわけ…。だってこの辺、何もないでしょう」(F君)。だから、「レコードを置いてほしい」「CDを」「文庫本をもっと」等々、“全生活をカバーする生協”になってほしい——というのが彼らの注文。



「我々は利益を追及しているんじゃない。企業とはちがうんだ、ということ。生協というのは組合員自身がつくっていくものなんだ、ということ。これが生協の良さであり、競合に負けない強さです」と横山専務。

わずか1ヵ月あまりの実践のなかではありますが、生協のがんばりが、学生の信頼をあつめ、コミュニケーションを生み、“自分たちの生協をこんなふうにしていきたい”と語りあう土壌を、確実に育み始めていました。

●気になるこの本 「転換期の生活協同組合」

野村秀和・生田靖・川口清史編
大月書店/2,000円(86年5月刊)



久保建夫
生協理論研究会
事務局

「転換期の日本経済」といわれて久しいが、あるタイムラグをもって、生協分野にも転換期が訪れようとしている。一千万組合員を擁するまでになった今の到達点に立って、一つは、その規模にふさわしい民主的運営のルールを新しいレベルにどう押し上げるか、二つには、その力量にふさわ

しく地域社会にどうなじんでいくか。京都生協・生協理論研究会は、こうした、転換期の課題の解明に立ちむかうべく、各地の主要生協への訪問調査と京都生協の組合員の生活実態調査をよりどころに、初めての総合的な生協分析を試みた。

これまでの生協論とはいえば、たとい随所に理論化の意欲がみなぎっていたとしても、どちらかといえば、分析抜き思いこみや、切ないほどの執念に彩られ、一般の生協組合員はもとより、広く国民諸階層へなじめるものとはいいがたかった。その点、本書は、運動全体の到達点と課題の解明を豊富な実態調査と分析を通じて行なったため、生協発展の論理を冷静につかみとることに成功したといえる。生協専従者や組合員には、自らの日常業務や活動を広く社会的に位置づけ、とらえ直す機会を提供し、対外的には、今日の生協の全体像を国民の前に客観的に映し出したといえよう。もちろん残された課題も少なくないが、共同研究途上に浮き出してきた重要論点に即し、早々と生活様式論、民主的経営管理論の研究が新たに組み込まれている。

この本についての様々な読み方や御意見をお寄せいただければ幸いです。

ミニミニ情報 ①

家計から

ボーナスに心おどらせて……!?

6月は雨の多い月。外出はあまりなく、水光熱費もかからず、くらくの上では変化の少ない月です。けれど、夏期ボーナスの支給で、収入・支出とも数字の上で動きがあります。

特にふえた支出は、①所得税、②住居費、③立替金など、④職業費、⑤生命保険の順で、「非消費支出」が3つを占めています。ほとんどすべて、「契約的支出」です。職業費には、働く夫妻のごくろうさん代と同時に、ボーナスを待って支払われるべきものも含まれているでしょう。

他の消費支出は、通常の月とほとんど変わりません。梅やラッキョの漬けどき、落や山椒の炊きどきで、野菜や調味料のふえる月、というのも、この3年ばかりは数字の上には現われていません。

ローンの返済や保険の支払いをすませたら、ひとまず貯金。15万円はボーナスの52%にあたります。その後、夏休み経費で引き出しが始まり、冬のボーナスまでの間、月々の生活の中でとりくずされていきます。

ボーナスに心おどらせて買物、というくらしは、もうのぞめないのでしょうか。

(末川千穂子)

84年6月の収入と支出

(京都生協家計調査から)

収入	夫・妻給料 36万円	夫・妻ボーナス 29万円
	非消費支出 16万円	消費支出 34万円

映画と講演のつどい

- テーマ：人類と核兵器は共存できない
- 講師：安斎育郎氏（立命館大学教授）
- 映画：100ばんめのサル
- とき：6月28日(土)
 - （アサの部） 10：00～12：00
 - （ヨルの部） 19：00～21：00
- ところ：せいぎょう会館4F
- 参加自由・無料

☆国際平和年の今年。核兵器はいらない
の声をさらに大きく。

学習会

- テーマ：大型間接税とはなにか？
- 講師：松尾茂男氏（一般消費税創設反対京都期成同盟事務局長）
- とき：7月12日(土) 15：30～17：30
- ところ：せいぎょう会館4F
- 参加自由・無料

☆いまでも税金が重くて大変なのに。
そのうえに、またまたの税構想。

連続シンポジウム～生協の役割を考える～

<第2回>

- テーマ：農協・漁協・森林組合・生協の提携
～協同組合の役割を考える～
- 講師：下伊豆弘氏（京都府農協中央会理事・
美山町農協組合長）

杉村秀夫氏（京都府漁業協同組合連
合会参事）

上田昭三氏（京都府森林組合連合会
専務理事）

山田康晴氏（京都生協常務理事）

- とき：7月12日(土) 10：00～12：00
- ところ：せいぎょう会館4F
- 参加自由・無料

☆人と人とのつながりを大切にする
協同組合。役割を見つめなおす機会に。

ミニミニ情報

②

学園で

「優しく、しなやかな時代」のカラー

大学生協の新学期活動は終わった。

大学生協の主要構成員は、3月・4月でその4分の1が入れ替わる。この事は、生協が、大学の中にあるというだけでなく、大学生協が、時代のセンサーとして、絶えず時代の一端を見詰める事ができる位置にある事を意味する。

確か、安全地帯の歌う「ワインレッドの心」が流行った頃だと思う。新入生が地方から上洛し、下宿生活を始めるために下宿用品を購入する。下宿生活をするために今や冷蔵庫は必需品だが、この冷蔵庫の色で、マイナーなカラーであるレッド系が突然支持され我々を大いに悩ませた。この突然の変化の背景には、明らかに、自己の延長として商品を購入する生活スタイルの現われが考えられる。以来、レッド系は支持されてきた。しかし、今年の新学期で我々は、再び悩まされることになった。ピンク系の突然の支持である。確かに、思い当たるフシがあった。

『少年サンデー』の連載ものである「タッチ」が大学生を中心に良く読まれていたこと。女子学生の服装のトーンがこの1・2年清純をイメージする白であったこと。そして、例年4月に生協運動に加わる新入生が、何かの機会で、5月、6月と運動から離れていく。離れ離れて行く者だけでなく、残った者も悩み、悲しむ。残った者は、離れていった者に対して悩み、悲しむだけでなく、そのような組織に自らがいることについても悩む。自分を大切に、自分に関わる仲間を大切に、そして何よりも「優しい」のである。

パステルカラーをベースとしたピンクが支持される心情がよくわかる。この基調は、他にも観ることができる。従来、スチールパイプを主材としてベッドが中心であったが、ウッドを主材として作られてベッドが相対的に良く動いたのは新しい兆候である。 (小見 弘)